

創立10周年記念講演

座長 後藤 譲 治

演題「ウルトラマンからみた児童の心理」

映画監督・舞台演出・著作業

実相寺 昭 雄 監督



■ 経歴

1937年 東京に生まれる。

幼時を大陸で過ごす。引揚者。暁星学園より早大仏文へ。卒業後、TBS—TV入社。演出部、映画部を経てフリー。

- 主なるTV作品、「ウルトラマン」「ウルトラセブン」「怪奇大作戦」「波の盆」他。
- 映画作品、「無常」「哥」「あさき夢みし」「帝都物語」「ウルトラQザ・ムービー“星の伝説”」他。
- 舞台・オペラ、「ヴォツェック」「イドメネオ」「カルミナ・ブラーナ」「兵士の物語」他。
- ビデオ作品、「朝比奈隆・ベートーヴェン交響曲全集」「アリエッタ」「不思議館」他。
- 著書、「星の林に月の舟」「星屑の海」（以上筑摩書房）「旅の軽さ」（淡交新社）他。

■ 講演要旨

「ウルトラマン」は、戦後最大のヒーロー、と言って良いでしょう。「月光仮面」「鉄腕アトム」「仮面ライダー」といった巨星達もいるし、別の意味で“怪獣ゴジラ”も大きな存在です。しかし、キャラクター商品を含めて、不死鳥のように再生を繰り返し、長続きしているヒーローは、恐らく見当らないでしょう。

私のお話は、このウルトラマンの製作秘話を中心に、“夢”の在処を求めた人間達の姿を、出来るだけ面白く語ろう、というものです。私とその現場で体験し、考え、笑ったことを振り返れば、大人だった私達が子供達へメッセージを送った訳ではなく、私達が子供そのものだった、と思えるのです。

いい年をした大人達が、ヒーローや怪獣に、どんな“夢”を賭けたのか、一体あんな馬鹿馬鹿しいものに、大人の何を托することが出来るのか。・・・

ごく個人的に、自分の歩んで来た道を振り返り乍ら、みなさんに“話の種”を差し上げることが出来れば、と思っています。